



コンテスト受賞結果

◆ふくい理数グランプリ本選出場!!

【生物】最優秀賞、優秀賞 【地学】奨励賞 【数学 個人】優秀賞

◆第9回全国高校生SBP交流フェア 純賞と特別賞として百五銀行賞

◆日本地球惑星科学連合大会「高校生ポスター発表」 努力賞

◆自由すぎる研究EXPO

緑の下のまちづくり賞、てトナル賞、+1歩賞、3×3 Lab賞

◆第24回情報オリンピック 敢闘賞 5名が2次予選に進出しました!

◆第7回日本数学A-lympiad 3名が第1段階審査通過しました!

◆サイエンスキャッスル2024 大阪・関西大会 奨励賞

◆令和6年度ふるさと福井CMコンテスト高等学校部門 【一般部門】最優秀賞、奨励賞 【英語部門】奨励賞

◆テクノ愛2024 高校生の部 健闘賞 ◆高校生探究・情報コンテスト2024 相互審査優秀賞

◆奈良女子大学サイエンスコロキウム 奨励賞



卒業生の活躍



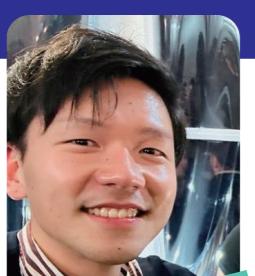
第34回ヤンマー学生懸賞論文・作文 優秀賞を受賞
柚木沙都氏 (摂南大学/農学部/食農ビジネス学科)

受賞内容 【過疎高齢化する島嶼部での生態系保全と地域振興への試案～久米島町での赤土流出の抑制をめぐって～】



第23回杉田玄白賞を受賞
内藤裕二氏 (京都府立医科大学 教授)

受賞内容 【食・腸内環境を標的にし、パーソナルヘルスレコード(PHR)を利用した健康長寿戦略に関する研究】



OBの研究者から

【現在精力的に取り組んでいる研究】

現在は主にトウガラシ・ピーマンの品種改良に関わる研究に取り組んでおり、交配親の形態・遺伝情報をコンピューターに学習させて、その子供がどのような果実のサイズ、形、辛味の強を示すのかを予測する技術の開発を進めています。また他方で、東南アジアの高温地域で粗放的に栽培されているキダチトウガラシという近縁種にも着目しており、一般的なトウガラシ・ピーマンにはみられない高温ストレス耐性をはじめとした有用特性の発掘、またこれらを支配する遺伝子の探索に取り組んでいます。将来的にはこれらの研究で開発される技術や明らかになる有用遺伝子を組み合わせながら、地球温暖化に耐えうる強靭なトウガラシ・ピーマン品種の育成に貢献していきたいと考えています。

近藤文哉博士(農学)

■現在の所属：京都大学大学院／農学研究科
■職名：日本学術振興会 特別研究員(PD)



QRコードから若狭高校をチェックしてみましょう!



若狭高校HP



SSH・研究部FB



若狭高校Instagram



福井県立若狭高等学校

SSHだより

Vol.35
2025.3

研究発表会 TIMETABLE

午前

◆開会行事

令和6年7月から始めた国際共同研究の中間発表として「災害ドローン」の研究をしているフィリピン・台湾・本校生徒のグループが英語で発表しました。

◆口頭発表の部(学科別発表)

口頭発表では、各学科にわかれ、2年生が今年度の成果を発表しました。各会場に講師として大学の先生方、専門家の方々をお招きし、ご講評をいただきました。

令和6年度SSH研究発表会を開催!

令和7年2月8日(土)

SSH研究発表会が開催されました! 今年からは海外との共同研究発表、ラウンドテーブルを実施しました。総勢1,000人を超える参加者となりました。高校生はもちろん、小学生、中学生も発表に参加し、それぞれの学びを共有し、深めあうことができました。参加してくださった皆様、講師や大学生の皆様、また、ボランティアスタッフの皆様ありがとうございました。



発表会に参加した中学生のアンケートより

▶午前の部は一人一人の熱意がすごくて聞いていて興味深いものばかりでした。午後の部では実際に発表し高校生からのアドバイスを多くもらつたのでこれから探究に活かして行きたいです。

またラウンドテーブルだったので話しやすく楽しかったです。1日中とても楽しくて来年も行きたいです!

▶去年の体育館とは違って対話を大事にできる発表で自分の探究についてあまり緊張せず、気楽に話すことが出来ました。質問やアドバイスを聞いて視野が広がりました。



午後

◆ラウンドテーブルの部

本校1・2年生と近隣小中高生の発表を、本校3年生・大学生・地域の方々のファシリテーションのもと、少人数のグループをつくり、じっくりと対話をしました。始めは、自己紹介・アイスブレイクをして緊張をほぐし、その後順番に発表・質疑応答を重ねて学びを深めました。



今年度の要旨集の表紙です!



の中に何を入れて対話しましたか?

国際共同研究 って何? どんなことしとるん?



研究テーマとして、高齢化、ソフトウェア開発、災害におけるドローンの開発、海ゴミの比較などの研究をフィリピンや台湾の高校と実施しています。若狭高校では、7月に行われる国際科学フォーラムで海外との研究テーマのマッチングを図り、世界的な問題を共同で研究しています。ぜひご参加ください♪

SSHアメリカ合衆国海外研修

令和6年9月28日(土)～10月3日(木) 延べ6日
訪問先:Apple社、スタンフォード大学、マーセッド高校他

5年ぶりの開催となった海外科学研修には、2年生15名が参加しました。このアメリカ研修は、生徒の研究成果を海外の高校生や研究者と共有し議論することで、国際性を育むとともに現地高校や大学との共同研究を通じて、研究意欲の向上と内容の深化を図ることを目的としています。

最先端の科学技術 サイエンスの授業参加 探究発表 現地高校生との交流



カリフォルニア大学マーセッド校で水力学の研究室を訪問しました。AI農業ロボットに乗せて頂いたり、ドローンのお話を聞きたりしました。マーゼットカレッジでは、座学や実験、ポスター発表に参加しました。

参加した生徒の感想

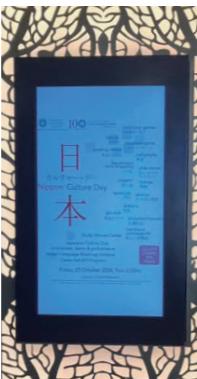
今までで一番自分が成長し、いろんなことを学べた研修だったと感じています。(中略)私たちがした研修は普段の海外旅行では経験できないことばかりだしそれは携わってくれていた人のおかげです。そして私の研修のためにお金やいろいろサポートしてくれた両親にも感謝したいです。私たちだけでは実現できないことで、いろんな人のサポートで経験したことを後輩に繋げ、自分の成長の糧にしていこうと思います。
今回自分がしてもらって嬉しかったことを出来るようになりたいと思いました。

★★SSHではCSCと協力し、海外での探究を応援します★★

●海外に探究しに行った2名の生徒を紹介させて頂きます!!

2年国際探究科 中島栞さんの挑戦

カナダのバンクーバーに3週間の短期留学
中島さんはトビタテ留学支援制度に採択され、「イノベーションを起こすには?」というテーマのもと、コワーキングスペースの作り方をカナダの企業を訪問、経営者の方にインタビューをしました。



2年国際探究科 小坂みなみさんの挑戦

ハワイに2週間の短期留学
小坂さんは、ハワイ大学やワイキキ小学校を訪問し、自身の探究テーマをさらに深めました。研究テーマは「日本文学に見られる日本人の感性は外国人の人にも共感されるのか」です。古典文学の自然の描写を例に研究しました。



特別講座

探究協働会議

1年文理探究科 11月19日(火)
2年国際探究科 11月8日(金)
2年理数探究科 10月25日(金)
2年海洋科学科 11月14日(木)
2年普通科 10月24日(木)



生徒が取り組んでいる研究テーマや研究手法に対して、専門家からアドバイスをいただきました。講師の方とも一緒に探究する仕組みが素敵な対話をつくり出しています。

第2回地域の方とつくろう

1年普通科 11月14日(木)



今回はこれまで探究を進めてきた成果や今後の活動方針について地域行政の方々へプレゼンし、探究活動のアドバイスをいただきました。

探究科学I ワークショップ

1年文理探究科 11月26日(火)



探究科学I(国際)では、外部助言者の坪井さんを招いてワークショップを行いました。自分の探究テーマだけでなく、グループ内の他の探究チームのアイデア出し等も協働して行いました。

国際探究科ウィンターセミナー

1年文理探究科(国際探究科希望者)

2年国際探究科 12月23日(月)

経済産業省の佐分利先生の講演会を始め、1、2年生間の交流や3年生、卒業生とも対話し、探究を通じて幅広い世代と交流ができました。

サイエンスダイアログ

2年国際探究科 12月9日(水)

講師: Dr.Esteban CORDOBA ARRYO氏(コスタリカ)

大阪大学より講師をお招きし、「アジア太平洋戦争を表象する映像メディアへの質的・量的アプローチ」について英語での講義をお聞きしました。

他校交流

仙台三高×若狭高校 探究クロスセッション

2年普通科(理系) 12月11日(水)

宮城県仙台第三高校2年生42名が研修旅行の一環で来校し、2年5組、6組と「探究クロスセッション」を行いました。探究の内容と成果を説明し、質疑応答や困りごとなどを話し合いました。



校外研修

原子力グローバルスクール

2年国際探究科 9月11日(水)

2年普通科 10月9日(水)



若狭湾エネルギー研究センター研修

2年理数探究科・普通科 12月25日(水)～27日(金)



京都大学複合原子力科学研究所の訪問研修を実施しました。黒崎所長様から直々に講義をいただき、各実験班に分かれて実験と分析を行いました。原子力といつても医療分野、タンパク質の構造解析、情報処理技術を利用した素材開発と様々な実学的な研究に関わらせていただきました。物理学って面白い、情報と科学ってこういうふうに結びつけるんだなどの感想が挙がりました。

